

広濟寺寺報

発行 浄土真宗本願寺派 福田山 廣濟寺

〒 933-0344 富山県高岡市笹川98 TEL(FAX) 0766-31-0096

E-Mail info@kosaiji.net

ホームページ

http://kosaiji.net/

法座のご案内

御正忌報恩講

一月十五日(日) 午後二時より
十六日(月) 午前九時半・午後二時より

※ お勤め・法話共に、御堂ではなく、
ストーブで暖かくした広間にて行います



今号の法語



忙しい 忙しいと
 「特急」人生
 途中はみんな
 通過 通過
 そして中身は
 からっぽ
 松扉哲雄

内容・第二次五位組大遠忌団体参拝報告
 内・第十期連続研修会(連研)募集
 号・除夜の鐘で年越しを♪
 今・大遠忌いよいよクライマックスへ!

今年も気がつけばもう年の瀬。早いものですね。

さて今回はお隣石川県の僧侶、松扉哲雄先生の言葉です。

「特急」といえば、北陸新幹線の工事、どんどん進んでいますよね。開通すれば東京まで約二時間。昔では考えられませんが。東海道ではリニア新幹線なる計画も。こちらは東京と大阪間がなんと一時間半だそうです。

世の中まさにスピード社会。コンビニ、インターネット。様々なものがスピード化しています。

それは人間も同様。目まぐるしく移り変わる世の中に私たち人間も振り回されているようです。

このままいけば気づいたときには「もう年の瀬・・・」と同じように死んでいくのでは・・・。

一日一日大切に。「各駅停車」で「いのち」を味わいながら生かせていただきます。

第二次

五位組大遠忌団体参拝報告

十一月十三日(日)・十四日(月)

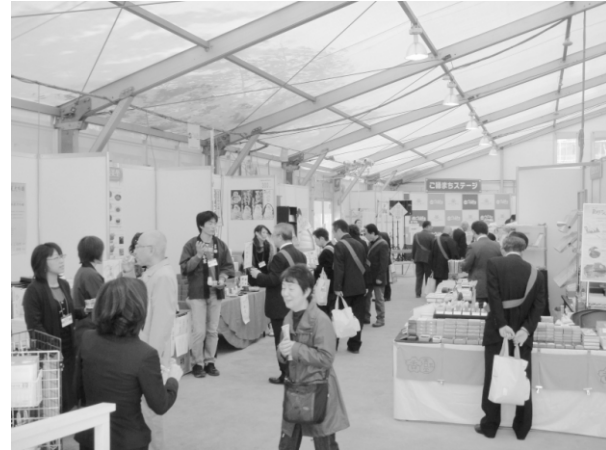
十一月十三日から一泊二日

で第二次五位組団参が行われ... 行程は基本的には前回と同じ。初日に比叡山を参拝し、二日目に本願寺において大遠忌法要に参加させて頂きまし



御影堂である会場法要

方々も多く見受けられました。今回勤められたのは音楽法要。昔ながらの法要とは少し違い、雅楽はもちろん、さらにエレクトーンも交え



「ご縁まちマルシェ」賑やかな

縁まちマルシェという物産展が開催中。試食・試飲もあり見てまわるだけでも楽しいですよ。この五位組団参、おかげ様で二回にわたって実に四三一名

た西洋音楽形式での法要です。これにコーラス隊が加わり、参拝者のお勤めの声も一緒になって、大変美しい響きが堂内に満ちわたりました。午後からは自由時間。わずかな時間でしたが、今回私は本願寺の門前町へ。本願寺の門前では、現在法要期間中に「ご縁まちフェスタ」というものが開催されています。小学校の跡地では「ご



五位組の皆さんと共に記念撮影

もの方々が参加して下さいました。おかみそりを受けられた方は一九〇名に上ります。本当にありがとうございます。この大遠忌参拝をご縁として、お念仏よろこぶ仲間がますます増えていくことを願っております。あいたくてもあえない大法要のご縁を頂いたことを大切にさせて頂きましよう。

第10期連続研修会(連研)募集

時期 2012年3月～2013年8月 第二日曜日

※ 詳細は後日ご案内します

参加費 10000円(2年間分)

締切 2012年2月15日まで

※※ 申込用紙は広濟寺ホームページの

トップページよりダウンロードできます



来年三月より五位組連続研修会(連研)が始まります。この連研もおかげ様で第十期を数えるまでになりました。

この連研は約二年にかけて行われるもので全十二回で開催されます。参加費用は全部で一万円。浄土真宗の門徒としての心構えなどを学んでいきます。

正信偈の練習はもちろん焼香などの作法まで一通り行います。また浄土真宗のみ教えについても学びます。その中で様々な発見があると思います。み教えの内容というのとはなかなか学ぶ機会がありません。『へ、真宗ってこんな教えだったんだ!』と新鮮な驚きがあると思います。

会場については五位組内の寺院を持ちまわりで行う予定です。普段行くことのない

お寺に行くのも大変面白いと思います。自分のお寺と違うところも多々あり、色々な目が養われます。

申込みは広濟寺までお願いします。申込み期限は来年二月十五日となっております。

尚、詳細は広濟寺ホームページに後日掲載いたします。申込用紙もアップしておきますので是非ご参照ください。多くのご参加お待ちしております。

除夜の鐘で年越しを♪

今年も除夜の鐘の時期がやって来ました。大晦日の午後十一時四十五分からおよそ一時間にわたって行います。

最近家族で参加して下さる方も増えてきました。

出入りは自由ですのでいつでももお越しください。お待ちしております♪



研修風景(組内の寺をまわります)

大遠忌いよいよクライマックスへ

一月九日～十六日は御正當

今年四月九日から始まった親鸞聖人七五〇回大遠忌法要もいよいよ大詰め。残すは来月一月に勤められる「御正當」のみとなりました。

毎年本願寺では一月九日午

後から聖人の祥月命日である十六日の午前までの七昼夜にかけて「御正忌報恩講」が勤められています。七五〇回の大遠忌に当たる今回は「大遠忌法要御正當」として、四月から始まった大遠忌法要の締め括りとして勤められます。

まだ参拝しておられないという方、まだ間に合います。五十年に一度の大法要ですのでお若い方々こそ是非どうぞ。そしてこの時の話を将来の自



分の子や孫に語り継いでいただければと思います。

五十年後、八〇〇回忌に今度は孫の手を引きながら再び参拝できたらいいですね。

お知らせ

二〇一一年

除夜の鐘

十二月三十一日(土)

午後十一時四十五分より

二〇一二年

元旦会

一月一日(日)

午前五時より

御正忌報恩講

一月十五日(日)

午後二時より

一月十六日(月)

午前九時半より

午後二時より

御講師

砺波組 明覚寺

林 要昭 師

正信偈を読む会

毎月第三土曜日

午後四時より

広濟寺仏教婦人会

毎月第四土曜日

午後七時半より

※一月・二月は休会します

編集後記

毎年恒例となった「今年の漢字」。今年は「絆」でした。

大震災、支援活動、女子サッカーなどを通して「つながり」というものの大切さを改めて感じたというのが理由だそうです。

思い起こせば「無縁社会」という言葉が流行語となったのが昨年のこと。物質的に恵まれた現代人にとって、精神的な目には見えない「つながり」というものの価値が近年ますます再確認されてきているようです。

「絆」とは断つことのできない「つながり」のこと。目には見えないものだけでも、結局はその目に見えないものこそが人の心に一番大切なものなんです。